

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 黒須一夫
 幹事 大口弘和
 会報委員長 秋山茂則

No. 22

ロータリーを楽しもう！ ENJOY ROTARY！

1989～90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第364 回例会 平成元年12月12日(火) 晴

◇ “それでこそロータリー”

◇ 出席報告

会員 61名 出席 46名
 出席率 75.41%
 前回 12月5日 (修正出席率) 98.36%

◇ ビジター紹介

東京北RC 後藤 一之君 他4名

◇ お誕生日祝福

北野君(12/12)、吾郷君(12/15)、深見君(12/16)

◇ ニコボックス

水野 民也君 忘年ダンスパーティ盛大に行われ、菊池さんはじめ皆様に感謝いたします。

成田 良治君 忘年ダンスパーティ盛大に行われ、水野さん、菊池さんはじめ皆様に感謝いたします。

太田 茂君 12/7ゴルフ会にて優勝しました。とうとうシングルになりました。

小坂井 盛雄君 ダンス同好会のダンスパーティにご招待頂き有難うご座居ました。

お蔭様で家内共々大変に楽しい一刻を過ぎて頂きました。感謝します。菊池さん有難うご座居ました。

西村 禎二君 SAA委員の皆様、先日反省会には色々ご協力を賜り有難うございました。コウ期も何卒よろしくお願い致します。

菊池 昭元君 ダンス同好会の忘年ダンスパーティも25名の参加を頂き、3時間半に及ぶ熱演で盛況に終わりました。尚ゲストとして参加頂いた加藤、小坂井、上野、山本の皆様、有難うございました。(ダンス同好会幹事)

大谷 和雄君 本日のスピーカーの加藤 耕子さんを紹介いたします。

深見 章君 誕生日祝い。結婚記念日祝い。

北野 寿三郎君、吾郷 正夫君 誕生日祝い。

◇ 大口幹事報告

1. 次回例会は年末会員・家族懇親会を午後

6時より開催いたしますので、昼間の例会はごさいません。お間違いのないようお願いいたします。

2. ロータリーの友12月号がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇ 永井副会長挨拶

“言動・発言”

隣の国 中国の名言名句のなかから言行、会話、物言いに関する句を拾ってみました。『多くを聞いて疑わしきをかき 慎みて其の余を言えは則ち尤め寡なし』これは多くのことを見聞した上で疑わしいことや自信のもてないところはやめそれ以外の確実なことだけを慎重に口にするようにすればあやまちは少なくなるという孔子のことばです。

『爾の言を慎め將に之に和するもの有らんとす。爾の行いを慎め將に之に随うもの有らんとす』 慎んでものを言いなさい。すぐにそれに応じた、お返しがあるであろう。人間の言行は、すぐさま他人に反応していくものであるから他人によくないものを感じたら、それが自分から伝わっていったものでないかよく反省すべきであることをいっています。

『言は行を顧み 行は言を顧みる』 みずから意見をいいたそうとするときには、それがほんとうに行いおおせるかどうかをよく考えなにごとかを実行しようとするときには、それが筋の通った考えにもとづいているかどうかをよく考え、言と行とを一致させることにつとめねばならない。

『十目の視る所 十手の指さす所 其れ敵まんかな』 われわれのことばやふるまいは、多くの人々が注目し観察しており、多くの人々が指さして注意しているところのものであるから、わが身を戒め謙虚にふるまわねばならない。『言うべきに匿ざるは言うこと勿か

れ 由に匪ざるは語る事勿かれ』 言うべき事であれば言わなければならないし、理由のある事であれば言わなければならない、余計な口はきくなという戒めです。『善を誣うる人は其の辞 遊し 其の守を失う者は其の辞 屈す』他人の善をねじまげ悪く言う人は、そのことばが浮わつて落ちて着きのないものになる。守るべき信念をもたない人は、そのことばが卑屈なものになる。『人と与に言を善くするは、布帛よりも暖かに、人を傷つくるの言は、矛戟よりも深し』 人と交わるに際して、立派なことばを用いることは、着物でくるまれているよりも人を暖め人を傷つけることばを用いることは、ほこで刺されるよりも深く人を傷つける。『乱の生ずる所は、則ち言語以て階を為す』 混乱が生ずる場合には、言語が最初の段階になる。混乱は言語がもとで生ずるものだから慎まなければならない。『話が舌まで来たら、半句残す』 言いたい話が舌の先に来たら半分は言わず保留する。物語を完全に言わないで相手を察しながら自分はどの程度まで言うべきかを決めるのがよい、話は慎重にするようにという戒めです。話すことの、むつかしさが名言名句にできています。『語は心苗』

◇講演

“芭蕉海外へ行く”

耕. KOポエトリーアソシエーション会長

加藤 耕子さん (紹介 大谷君)



1689年、松尾芭蕉は江戸深川の草庵を出て、約150日間のみちのくの旅に出た。陰暦3月27日(太陽暦5月16日)、芭蕉46才の時の事であった。約5年の歳月を経てこの旅は『おくのほそ道』の旅行記として後世に残ることになる。英訳された本もすでに幾つか出ているが、中でも山形県山寺で詠まれたという

閑さや岩にしみ入蟬の声

Stillness —
cicada's voice penetrates
into the rock. tr. by Koko Kato

の閑寂境は、戦後、ことに英語圏で盛んになったHAIKUの主題として多くの影響を与

えている。一匹の蟬の声が岩にしみ入るばかりの「しづかさ」は、戦に傷ついた二十世紀の人々の心に深くしみ入ったと言えよう。

Now the leaves are still —
and only the mocking bird
lets the moonlight through!

O. M. B. Southard
葉騒やみ月さしとほる鳥の声

サウサード 耕子訳

The trail overgrown,
I'll take the way of this creek
now silenced into sand.

J. W. Hackett
踏む砂へ足音しむる茂りかな

ハケット 耕子訳

「古池や……」の句の訳が百種以上も出ているという事を知れば、芭蕉様もさぞやおどろかれる事と思う。アメリカでは、「フロッグ ポンド」という名の俳誌さえ出されている。このような海外での芭蕉の受容は、洋行帰りの文化として日本でどのような現象を生み出すのであろうか。

第60回ゴルフ会成績

(四日市セントラルG.C. 12/7(木))

RANK	NAME	OUT	IN	G	H'cp	NET
優勝	太田 茂	41	43	84	11	73
準優勝	杉浦比左夫	44	44	88	11	77
3位	水野 賀統	47	44	91	12	79
B B	菊池 昭元	46	58	104	17	87

第38回夫人ゴルフ会成績

RANK	NAME	OUT	IN	G	H'cp	NET
優勝	小林 照子	56	50	106	25	81
準優勝	成田真砂子	54	60	114	28	86
B B	安藤菜知子	71	56	127	36	91

(参加者 17名)

今週の言葉

“吾唯足らざるを知る”

江崎 民夫

“人に迷惑をかけない”

加藤 正義

“自分の言葉で話す”

佐野 寛

◇次回例会(12月19日)

年末会員・家族懇親会

愛知厚生年金会館にてPM 6:00より

◇次々回例会(12月26日)

年末例会(立食)